

# 入野小学校 校長室だより

2014. 6. 20(金) No. 11 文責：芝

## 交通安全と命のこと

私事から始めて恐縮ですが、今週、誕生日を迎えた私の二女の事故から、もうすぐ1年になります。

幸い軽傷ですんだのですが、高速道路で横転して対向車線に転がり込んだという事故の状況を思うと、今でも肩が強張る感じがしますし、迎えに行った病院の薄暗いロビーに一人でポツンと座っていた娘の姿を思い出すと、今でも涙が出てきます。

事故というのは怖いものです。その人の存在そのものが、一瞬で思い出になってしまうことが起こるのだと、その時に改めて思ったことでした。

5月に起こった入野小学校の子どもの事故以降、何人もの方が子どもたちの危ない様子を知らせて下さいました。子どもたちから危ない状況が無くならないというのは残念ですし、危機感を感じますが、それを知らせて下さる方がいるのは、本当に有り難いことだと感謝しています。小学生の場合は「敢えて危険な行為を行う」ケースは極めて稀で、多くは知識の乏しさや認識の低さが危険な行為につながっています。ですから、お知らせいただいた事例は、必ず指導に生かしていきますので、危ないと感じたことがありましたら、ぜひ学校までお知らせ下さい。

ところで、私の娘は事故で初めて救急車のお世話になり、夜間にもかかわらず病院で診察も受けました。その他にも様々な方のお世話により、すぐに日常生活を取り戻しました。この世の中の仕組みは、素晴らしいものだと思います。入野小学校の子どもたちも、様々な場所に行き見学させていただいています。私

たちの身の回りの職業が、私たちが生きていく上での必要性・利便性、更には幸福感などに結びついていることを、感謝の気持ちとともに学び取ってほしいと願っています。

## 子どもたちが見せる“流れ”

入野小学校に赴任して、「いいなあ」と感心していることの一つに「長休み・昼休みが終わった時に、子どもたちの流れが見える」ことです。

下の写真は19日（木）の昼休み終了の予鈴後の様子。言い訳を加えれば、この写真よりも15秒くらい前が「ベストショット」だったのですが、毎回予鈴が鳴れば校庭に校舎に向かって小走りに移動する子どもたちの「流れ」が見えます。（写真では右上に二人残っていますが、サッカーゴールのネットに乗ったボールを取ろうとしているのです。）



時間を守るということは「当たり前のこと」です。ですが、「当たり前のことを、当たり前のようにしている」というのは、胸を張って自慢していいことではないでしょうか。

もう一つ加えると、「この流れ」は上級生がよい手本を見せてくれているように思います。例え1年生が何も知らなくても、上級生の様子を見て、「ああ、このチャイムが鳴ったら、あんなにするんだ」と学んで出来るようになることでしょう。入野小学校の自慢として、ずっと続けていって欲しいことです。